

『指導救命士の役割と教育体制の構築』

	都道府県名	広島県
	所 属	尾道市消防局警防課
	氏 名	高原 昌哉
	職名・階級	救急救助係長・消防司令
	指導救命士養成研修 受 講 時 期	平成27年度 指導救命士養成研修 第2期 修了

指導救命士としての役割

平成27年4月、尾道市消防局では指導的立場の救命士の運用を開始しました。当時、広島県では指導救命士認定制度が施行されておらず、当消防局では従来まで各救急隊単位で実施する研修や訓練から、指導救命士を中心とした救急隊員教育に取り組むこととなりました。



救急隊長が一堂に会し、研修やディスカッションを実施

救急救命九州研修所で学んだ救急隊員教育に必要な指導技法や、救急業務に関する研究を行うための方法等を活用し、救急隊員が直面する喫緊の課題について検討や学習を重ね、救急隊員教育のプランに反映させ、救急隊員教育の標準化を図っています。

一方、近年では救急関係の教育コースが数多くあり、当消防局内の救急隊員も自己啓発のため受講者として、あるいは指導者として参加する職員も多くなりますが、それだけでは各隊員間で知識やスキルにばらつきが生じてしまうため、救急活動に必要な基本的な部分からより実践的な内容に関しても教育を実施しています。

教育の構造としては、救急業務に携わる職員の生涯教育の指針に示されている「屋根瓦方式」を基本とし、当消防局内の指導救命士がカリキュラムを作成、「救



救急隊員総合シミュレーション訓練の様子

急隊長研修」として、全救急隊長だけを対象とした集合研修を年3回実施し、各隊長はその研修内容に準拠した研修や訓練を各自隊で実施しています。

つまり、救急隊長から副隊長へ、そして新任隊員へと教育が日常的に繰り返されるということです。

そして、各隊の積み重ねた訓練の集大成として「救急隊

員総合シミュレーション訓練」を開催し、実現場さながらの想定により訓練を進めていきます。

その活動内容に地域メディカルコントロール協議会の検証医師と指導救命士が評価及びフィードバックを加え、活動から見た課題について各救急隊が隊長を中心に救急隊員と一緒に訓練を重ね、技術力やチーム力を向上させることで救急活動に反映させています。

救急隊長をはじめ救急隊員に対する教育の目的は、救急隊長を中心としたチーム力の向上であり、その結果救急活動の質を向上させ地域における救急サービスの充実へと繋げていくことです。

今後の課題

消防局としてこの教育を継続させ、救急全体の質を向上させていくためには、その効果を評価する必要があります。しかし、その効果を明確に示すスコアが存在しません。

救急隊員のスキルや知識、救急隊のチーム力の向上について、どう評価してくのか今後の取り組みの中で考えていきたいと思っています。



救急シミュレーション訓練後のフィードバックの様子